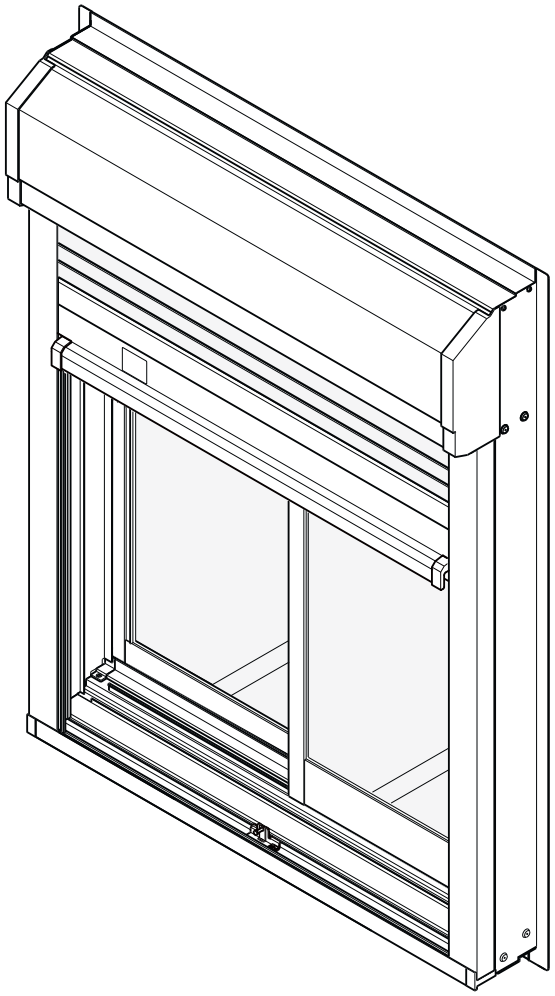
お施主さま用

LIXIL
TOSTEM

採風・採光
シャッター **アリーズ**（SRS仕様）

窓シャッター **イタリヤ／クワトロ**（電動タイプSRS仕様）

取扱い説明書



ご使用にあたって

この説明書では、お施主さまが商品を安全に正しくご使用いただくための取扱い方法やお手入れ方法などの重要な内容を記載しております。
ご留意いただくとともに、大切に保管してください。

目　次

■重要なお知らせ……1
■警告用語の種類と意味……1
■特に注意していただきたいこと……2〜5
注　意……2
お願い……3・4
ご使用にあたっての留意事項……5
■各部のなまえとはたらき……6
■ご使用前の確認事項……7
セーフティーリターンセンサーとは……7
■壁スイッチ（アダプタ）およびセントラルコントローラーのなまえとはたらき……8〜10
1.壁スイッチ……8
2.タイマー付き壁スイッチ、タイマー付きアダプタ……9
3.セントラルコントローラー……10
■操作のしかた……11〜19
1.壁スイッチの操作のしかた……11〜16
2.セントラルコントローラーの操作のしかた……17
3.リモコンの操作のしかた……18・19
■連窓方立の取外し方・取付け方……20
■アリーズ・イタリヤ・クワトロの異常表示……21・22
1.赤の点滅……21
2.緑の点滅……22
■停電時開閉機構の使い方……23・24
1.停電時開閉機構とは……23
2.開閉のしかた……23
3.手掛けの位置変更……24
■安全ロック機構の使い方……25
1.安全ロックとは……25
2.安全ロックの操作のしかた……25
■点検とお手入れ……26〜28
1.点検……26
2.ロックの点検……26・27
3.セーフティーリターンセンサーの作動点検……27
4.お手入れのしかた……28
■シャッターが動かない場合……29・30
1.処置のしかた……29・30
2.フィルター一覧……30
■商品保証について……31

重要なお知らせ

ご使用の前に

●安全のために、必ずお守りください。
「アリーズ・イタリヤ・クワトロ」のご使用およびお手入れを行う場合は、必ずこの取扱い説明書にしたがってください。
なお、この取扱い説明書にしたがわず、乱用又は誤用によって、ケガおよび損害が発生した場合は、株式会社LIXILおよびその販売会社に責任はないものといたします。

1.この取扱い説明書の記載事項の他にも、あらゆる危険が想定されます。したがって、「アリーズ・イタリヤ・クワトロ」のご使用およびお手入れの際は、この取扱い説明書の記載事項に限らず、安全対策に関して十分な配慮が必要です。

2.この取扱い説明書は版権を有し、その権利は留保されています。

3.商品のお問い合わせについては、下記の窓口までご連絡ください。

問合わせ内容	連絡先窓口	TEL
商品全般	お客さま相談センター	0120-126-001
修理のご依頼	LIXIL修理受付センター	0120-4134-33

警告用語の種類と意味

※この章では、「アリーズ・イタリヤ・クワトロ」を使用する場合に守るべき安全事項を説明しています。

●この取扱い説明書では、危険度の高さ（又は事故の大きさ）にしたがって、次の2段階に分類しています。以下の警告用語が持つ意味をよく理解し、本書の内容（指示）にしたがってください。

警告用語	意　味
⚠注 意	取扱いを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。
お 願 い	特に注意を促したり強調したい情報で、指示にしたがわないと機器の損傷・故障などにつながる場合があります。

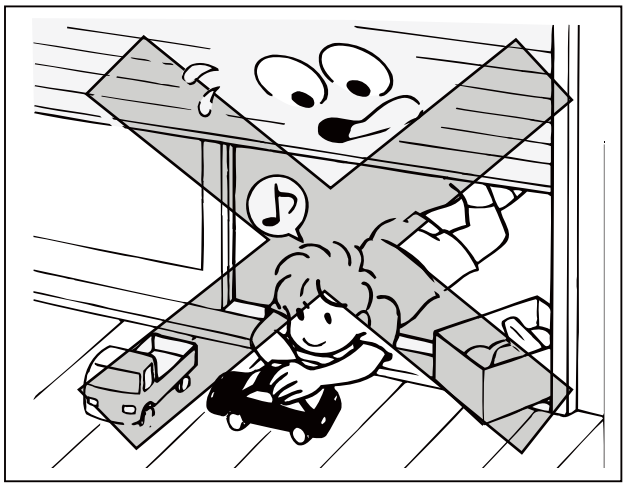
特に注意していただきたいこと

（安全のため、必ずお守りください）
※ご使用の際は商品に張ってあるラベルもよくお読みの上、正しくご使用ください。

⚠ 注　意

●開閉の際には周囲に人・物がないことを確かめてから開閉してください。
はさまれてケガをしたり、物をはさんだりするおそれがあります。
はさまれた場合は、ただちに停止スイッチを押してシャッターを停止させ、開スイッチを押してシャッターを巻き上げてから取除いてください。

●開閉中は開閉位置に顔や手を出さないでください。はさまれてケガをするおそれがあります。



●改造しないでください。特にモーターおよびスイッチの改造・配線の変更は事故・故障の原因となります。

●セーフティーリターンセンサーを点検するときは、シャッター周辺に手をふれないでください。シャッターと窓枠の間にはさまれてケガをするおそれがあります。

●セーフティーリターンセンサーの点検時に、シャッターの下降が停止しない、シャッターが自動的に上昇しないなどがありましたら、ただちに壁スイッチの停止スイッチを押してシャッターを停止させ、開スイッチを押してシャッターを巻き上げてください。事故・故障の原因になります。

●点検口を開けて内部の部品を触らないでください。思わぬケガをしたり、作動不良の原因になったりするおそれがあります。

●左右のガイドレールより内側20mmの範囲では、セーフティーリターンセンサーが感知できません。この範囲に物がないことを確認してから作動させてください。

●連窓方立の取付け後に、落し錠のレバー部「閉」刻印が半分かくれるまでレバーを下げて、落し錠受けに固定されていることを確認してください。固定されていない場合、脱落し人身事故や物損事故につながります。

お願い

●外開きサッシに取付けてある場合は、障子が閉まっていることを必ず確認してください。

●短時間で繰り返し開閉しないでください。保護装置がはたらき、一定時間動作が停止することがあります。（故障ではありません）10～15分程度時間をおくと、再び開閉できます。

●シャッターは少なくても1カ月に2～3回開閉をしてください。長期間動かさないとスムーズに動作しなくなるおそれがあります。

●「アリーズ・イタリヤ・クワトロ」を無理に引っ張ったり、押し上げたりしないでください。思わぬケガをしたり、作動不良の原因になったりするおそれがあります。

●おやすみ又は外出の際は、安全のため、「アリーズ・イタリヤ・クワトロ」を閉めて安全ロックを施錠してください。又、必ず内側のサッシも施錠してください。強風・雨の際もきちんと施錠してください。

●安全ロックを施錠したまま、シャッターの開ける操作をすると、シャッターが破損するおそれがあります。必ず解錠してから開閉操作をしてください。

●シャッターボックスに、はしごをかけたり、上にのったりしないでください。変形および故障、転落や負傷につながります。

●シャッターボックスに雪が30cm以上積もった場合は、必ず取除いてください。変形および故障につながります。又、その際は足場をしっかり確保して作業してください。転落・負傷するおそれがあります。

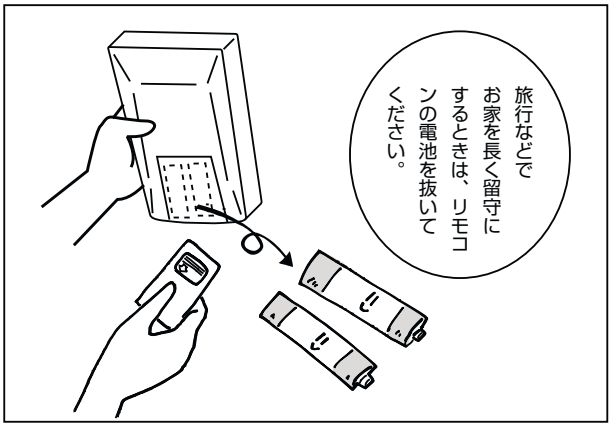
●「アリーズ・イタリヤ・クワトロ」が凍結したときは、必ず溶けてから操作してください。無理な作動は故障や破損の原因になります。

●お子様にリモコンを操作させないでください。誤って人・物がはさまれるおそれがあります。

●壁スイッチ（アダプタ）、リモコンは濡れた手で操作しないでください。又、リモコンは直射日光の当たる場所や高温・高湿の場所に置かないでください。

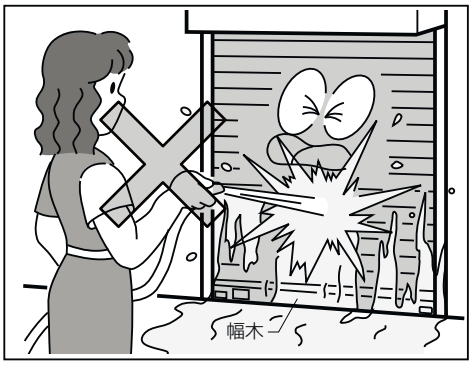
●リモコンを長期使わないときは、液漏れ防止のため、電池を抜いてください。

●下枠やガイドレール内部は常に清掃し、異物などがないようにしてください。誤作動の原因になります。

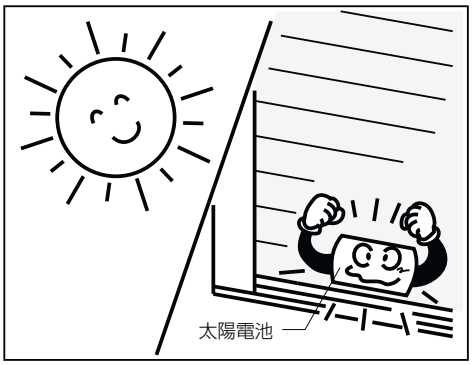


お願い

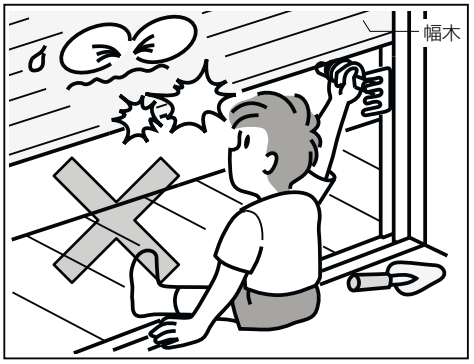
●幅木部分、シャッターボックス内に故意に水をかけないでください。太陽電池や電子部品、駆動装置が組込まれていますので、故障の原因になります。



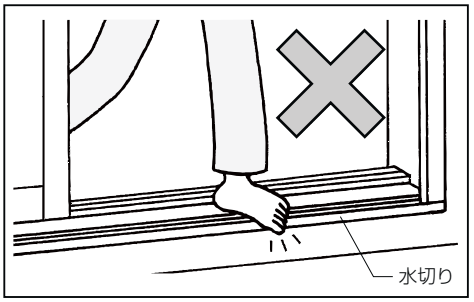
●幅木部分の太陽電池をおおいかくさないでください。セーフティーリターンセンサーは太陽電池を電源としています。太陽電池の充電容量が低下すると、セーフティーリターンセンサーが作動しなくなります。



●幅木部の下部のゴムは、障害物を感知するセンサースイッチになっています。このゴムがキズ付いたり切れたりすると、セーフティーリターンセンサーが作動しなくなります。

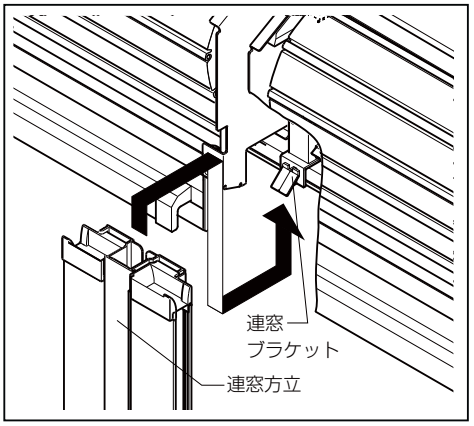


●幅木部の下部ゴムに有機溶剤（ベンジン・ガソリン・シンナーなど）や塩素系薬品（漂白剤・カビ取り剤など）、油・潤滑剤などが付着した場合は放置せず、すみやかに洗い落としてください。ゴムが侵されセーフティーリターンセンサーが作動しなくなるおそれがあります。



●「アリーズ・イタリヤ・クワトロ」下部の水切り先端部に乗ったり、重量物を載せたりしないでください。無理な重さをかけると破損の原因になります。

●連窓方立の上部が連窓ブラケットに差込まれていることを確認してください。差込まれていない場合、脱落し人身事故や物損事故につながります。



ご使用にあたっての留意事項

※「アリーズ・イタリヤ・クワトロ」を閉めた状態でも、スラットの内側が濡れることがあります。これはスラットの表面に横向きの風雨があたった場合、スラットの表面から内側に水が伝わるためです。品質に問題はありませんので安心してお使いください。

※スラットの表面が、雨などに濡れていると開閉後にスラット内側に水滴が付くことがあります。これはシャッターを巻上げると、スラットの表面と内側が重なるため表面についた水が内側につくためです。

※「アリーズ・イタリヤ・クワトロ」は、開閉途中に引っ掛かるような動きをすることがあります。これは電動モーターの出力とシャッターのスラット重量を巻取り軸に内蔵のスプリング力でバランスをとりながら開閉するという商品の特性上発生します。品質に問題はありませんので、安心してお使いください。

※「アリーズ・イタリヤ・クワトロ」を閉めても各部のすき間から、外からの光が入ることがあります。さらに光をさえぎる場合は、遮光カーテンなどをご使用ください。

※シャッターを閉めた状態で強風によりスラットがバタツキ、音がしたりすることがありますが異常ではありません。

※「アリーズ」の場合、シャッター全閉時にスラットが波打った状態になることがあります。これはスラット同士が重なることにより、スラットの通気口が閉じるという商品の特性上発生します。品質に問題はありませんので、安心してお使いください。

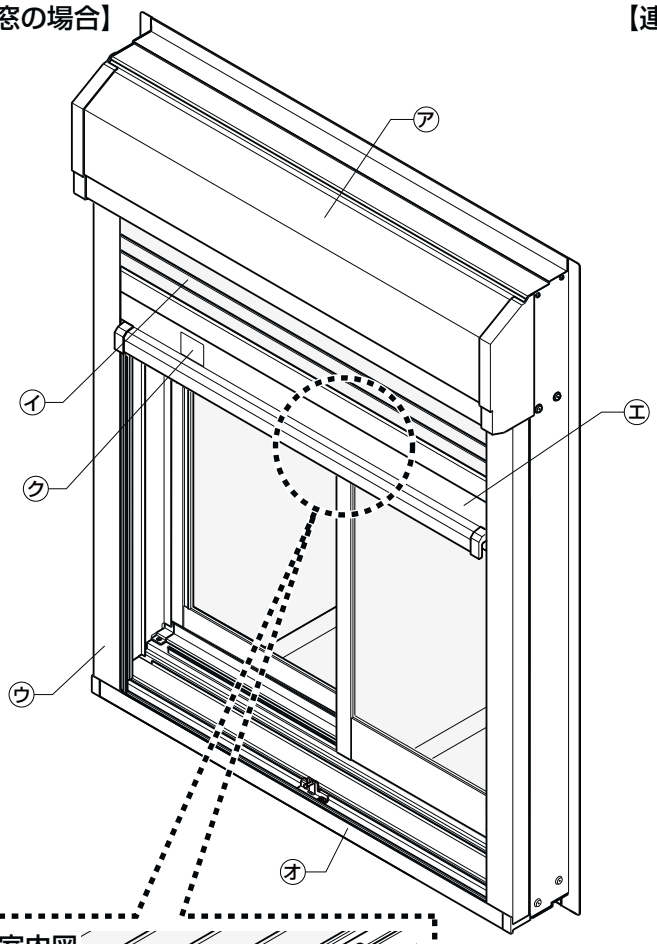
※「クワトロ」の場合、換気スラットの通気口は閉めることができません。強風や雨の際は、必ず内側のサッシを閉めてください。風や雨水が室内に入ります。又、通気口から外の光が入りますので、遮光カーテンなどをご使用ください。

※集中制御システムの場合、微弱な信号を電力線（屋内電気配線）に乗せて通信を行いますので、電力線の状態や他の電気製品の電気ノイズの影響により、通信できない場合があります。また、近辺に強い電波を発する無線設備がある場合は、通信できない場合があります。その際は、ノイズを除去していただく対応が必要になります。

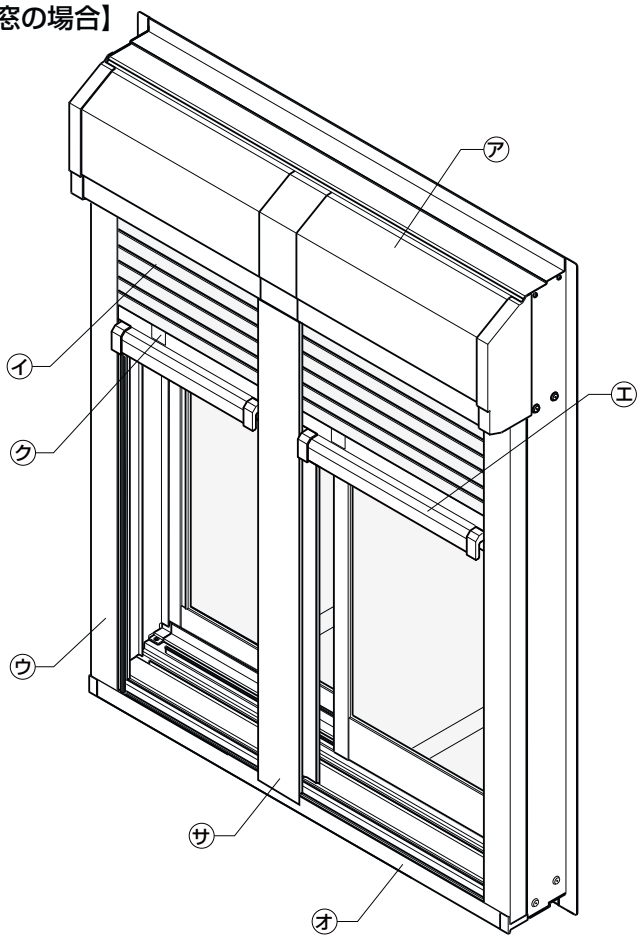
各部のなまえとはたらき

※「アリーズ・イタリヤ・クワトロ」本体の各部のなまえとはたらきを説明します。

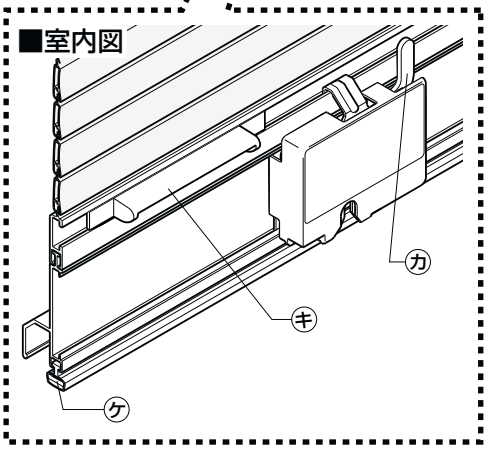
【単窓の場合】



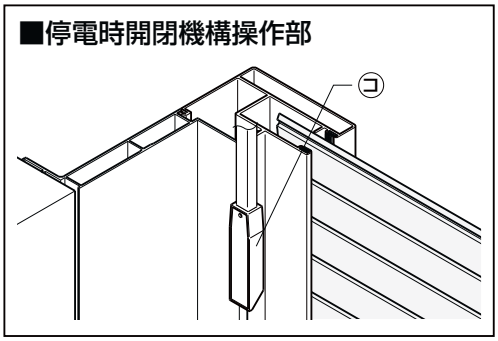
【連窓の場合】



■室内図



■停電時開閉機構操作部



●各部のなまえとはたらき

記号	なまえ	はたらき
㋐	シャッターボックス（点検口）	スラットおよびモーターなどを収納する部分です。 モーターなどの点検口です。
㋑	スラット	カーテン部分です。
㋒	ガイドレール	両側にあり、スラットの動きを誘導します。
㋓	幅　木	スラットの最下部で、防犯性を高める安全ロックが組込まれています。
㋔	水切り	底の部分で、雨水などを流します。
㋕	安全ロックレバー	おやすみや外出するとき使用します。
㋖	手掛け	手動開閉のとき使用します。
㋗	太陽電池	セーフティーリターンセンサーの電源です。
㋘	タッチセンサー	セーフティーリターンセンサーの感知部分です。
㋙	ハンドル	停電時開閉機構の操作用です。
㋚	連窓方立	連窓中央部にあり、スラットの動きを誘導します。

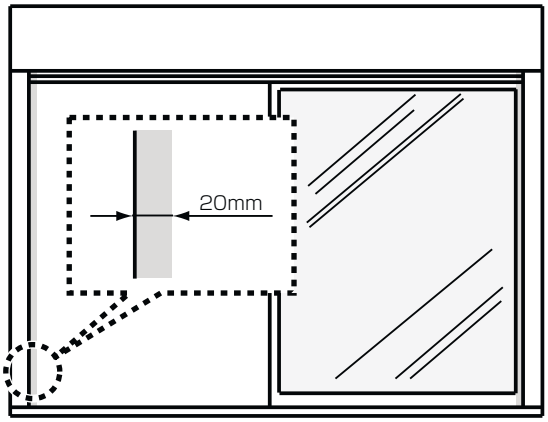
ご使用前の確認事項

セーフティーリターンセンサーとは

※シャッター下降中、幅木下部のタッチセンサーが物に触れるとシャッターはただちに停止し、自動的に上昇します。
この機構をセーフティーリターンセンサーといいます。

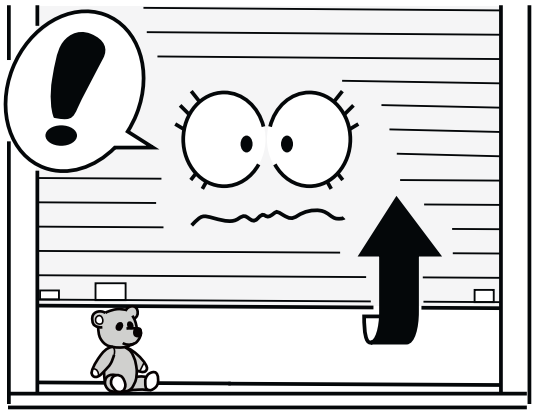
⚠ 注　意

●左右のガイドレールより内側20mmの範囲はセーフティーリターンセンサーが感知できません。この範囲に物がないことを確認してから作動させてください。



●セーフティーリターンセンサーは、太陽電池を電源としています。充電容量が低下すると、閉ランプ（緑）が点滅します。この場合は、P.22**「緑の点滅」**を参照してください。

●セーフティーリターンセンサーの感知開始重量は、1kg／cm程度(ぬいぐるみがはさまれてもつぶれない程度の軽さ)です。

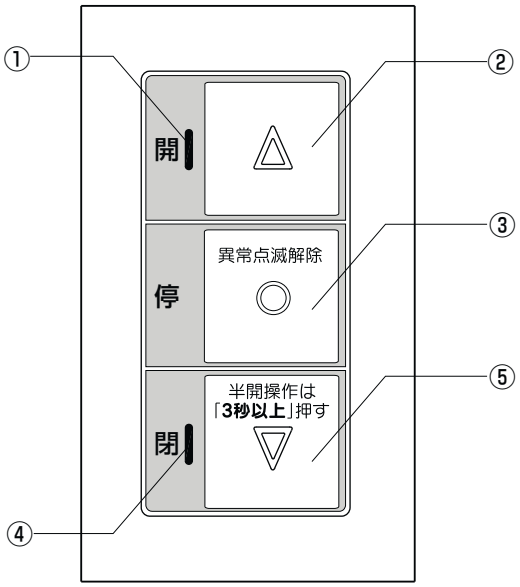


壁スイッチ(アダプタ)およびセントラルコントローラーのなまえとはたらき

1 壁スイッチ

※操作のしかたは、P.11**「操作のしかた」**を参照ください。

壁スイッチ



●壁スイッチのなまえとはたらき

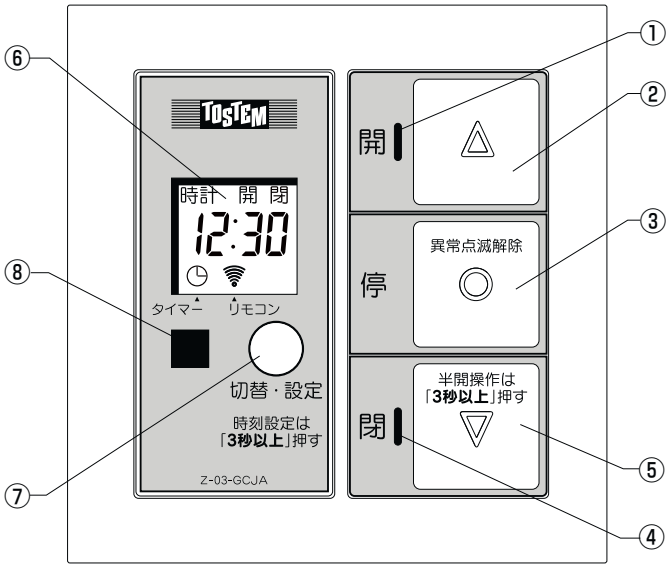
番号	なまえ	はたらき
①	**開ランプ（赤）**	**シャッターが全開又は途中停止の場合、点灯します。 （少しでも開いていると消灯しません。） 異常を感知すると、点滅します。**
②	**開スイッチ**	**シャッターが上昇します。 半開操作の設定をします。**
③	**停止スイッチ**	**シャッターが途中停止します。 開ランプ（赤）の点滅を解除します。 3秒以上の押し続けで半開操作の設定状態になります。**
④	**閉ランプ（緑）**	**シャッターが全閉の場合、点灯します。 （全閉中は消灯しません。） 太陽電池の容量が低下した場合点滅します。**
⑤	**閉スイッチ**	**シャッターが下降します。 3秒以上の押し続けでシャッターが半開動作をします。**

※開・閉スイッチを同時に操作した場合は、停止スイッチと同じはたらきをします。
※半開操作は設定が必要です。P.16**「半開操作の設定方法」**を参照してください。

2 タイマー付き壁スイッチ、タイマー付きアダプタ

※操作のしかたは、P.11**「操作のしかた」**を参照ください。

タイマー付き壁スイッチ（アダプタ）



液晶表示部

●タイマー付き壁スイッチ（アダプタ）のなまえとはたらき

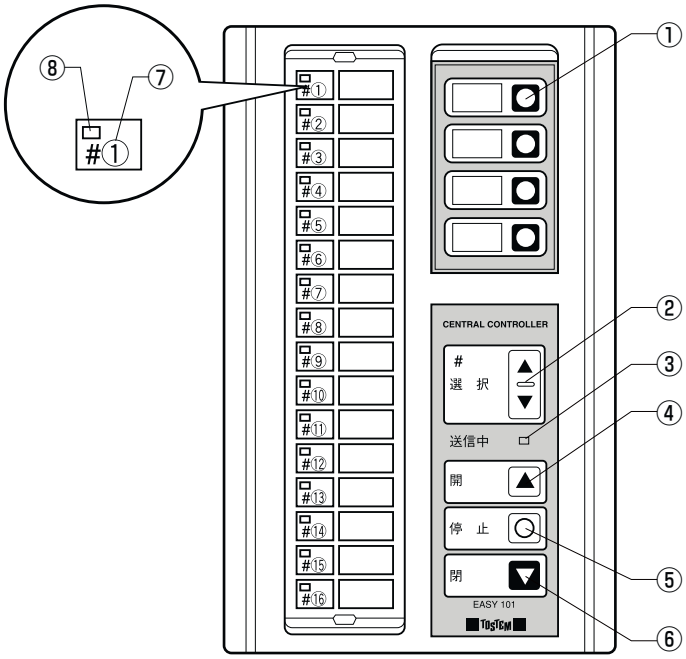
番号	なまえ	はたらき
①	開ランプ（赤）	シャッターが全開又は途中停止で点灯します。 （少しでも開いていると消灯しません。） 異常を感知すると、点滅します。
②	開スイッチ	・シャッターが上昇します。 ・設定時刻をすすめます。 ・半開操作の設定をします。
③	停止スイッチ	・シャッターが途中停止します。開ランプ（赤）の点滅とブザー音を解除します。 ・設定時刻の確認と、設定内容（タイマー開閉予約時刻、現在時刻）を順送りします。 ・3秒以上の押し続けで半開操作の設定状態になります。
④	閉ランプ（緑）	・シャッターが全閉の場合、点灯します。（全閉中は消灯しません。） ・太陽電池の容量が低下した場合点滅します。
⑤	閉スイッチ	・シャッターが下降します。 ・設定時刻をもどします。 ・3秒以上の押し続けでシャッターが半開動作をします。
⑥	液晶表示部	上記参照
⑦	切替スイッチ （タイマー･リモコン切替、 タイマー設定）	・タイマー予約・リモコン操作の切替えをします。 ・3秒以上の押し続けでタイマー開閉予約時刻、現在時刻の設定状態になります。
⑧	リモコン受光部	リモコンによる操作を感知します。

3 セントラルコントローラー

●セントラルコントローラーは、集中制御（複数の「アリーズ・イタリヤ・クワトロ」を制御）用のものです。（集中制御には、このほかタイマー付アダプタも必要です。）

※操作のしかたは、P.17**「セントラルコントローラーの操作のしかた」**を参照してください。

セントラルコントローラー



●セントラルコントローラーのなまえとはたらき

番号	なまえ	はたらき
①	グループ操作スイッチ	グループ設定に合わせて、複数のシャッターを同時に開閉します。
②	窓No.選択スイッチ	開閉したいシャッターの窓No.を選択します。
③	送信ランプ（赤）	信号送信中に点滅します。
④	開スイッチ	選択された窓No.のシャッターが上昇します。
⑤	停止スイッチ	選択された窓No.のシャッターが途中停止します。異常を知らせるブザー音を解除します。
⑥	閉スイッチ	選択された窓No.のシャッターが下降します。
⑦	窓No.ランプ（緑）	選択された窓No.のランプが点灯します。
⑧	開閉表示ランプ（赤） （異常表示ランプと兼用）	点灯：各シャッターが全開又は途中停止の場合に点灯します。全閉するとランプは消えます。 点滅：異常を感知すると点滅します。

操作のしかた

※この章では、「アリーズ・イタリヤ・クワトロ」の操作のしかたについて説明しています。

1 壁スイッチの操作のしかた

⚠ 注　意

●開閉の際には周囲に人・物がないことを確かめてから開閉してください。はさまれてケガをしたり、物をはさんだりするおそれがあります。はさまれた場合は、ただちに停止スイッチを押してシャッターを停止させ、開スイッチを押してシャッターを巻き上げてから取除いてください。
●開閉中には開閉位置に顔や手を出さないでください。はさまれてケガをするおそれがあります。

■壁スイッチ（アダプタ）からの操作のしかた

【開ける場合】

●開スイッチ②を押してください。
・シャッターが上昇し、開ランプ（赤）①が点灯します。
・シャッターを全開又は途中で止めたとき、開ランプ（赤）①が点灯します。

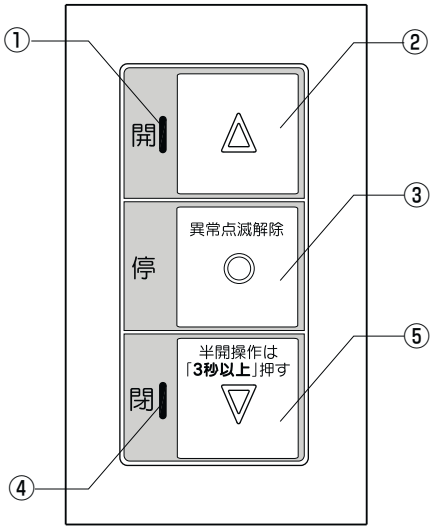
【閉める場合】

●閉スイッチ⑤を押してください。
・シャッターが下降します。
・シャッターが全閉のとき、閉ランプ（緑）④が点灯します。

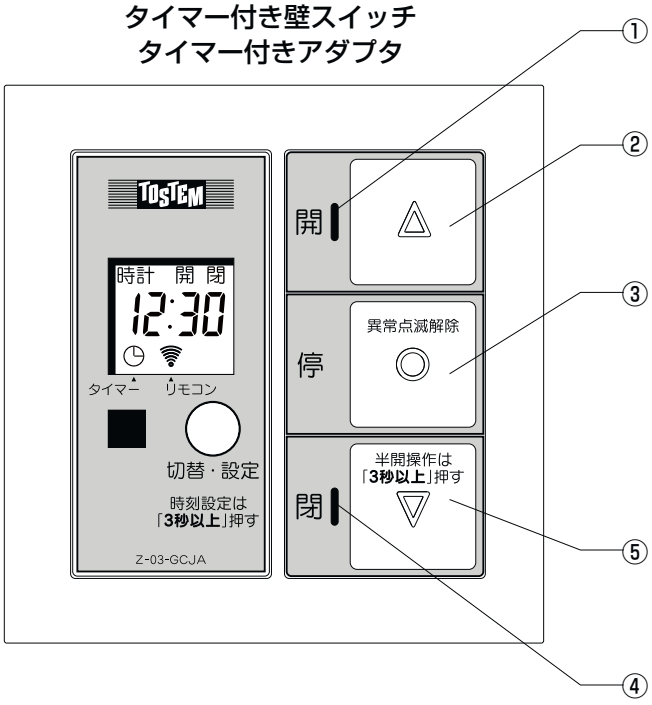
【途中で止める場合】

●停止スイッチ③を押してください。
・シャッターが途中停止し、開ランプ（赤）①が点灯します。

壁スイッチ



タイマー付き壁スイッチ
タイマー付きアダプタ



番号	なまえ
①	**開ランプ（赤）**
②	**開スイッチ**
③	**停止スイッチ**
④	**閉ランプ（緑）**
⑤	**閉スイッチ**

■タイマー・現在時刻の設定方法

●タイマーとはシャッターが指定時間に自動で開閉する機能です。

例）朝　6：00にシャッターを自動で開ける。

　　夜 17：00にシャッターを自動で閉める。

タイマー開予約時刻→タイマー閉予約時刻→現在時刻の順に設定していきます。

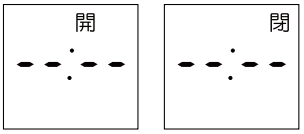
※時計精度は日差±2秒です。取付け環境でも精度は変わりますので、定期的に時刻合わせを行ってください。

手　順		使用するスイッチと操作方法	操作後の液晶表示
タイマー開予約時刻の設定	1	切換スイッチ ◯ を3秒以上押します。 （開・閉ランプが点滅。ランプは設定終了まで点滅します。） 「開」「◷」が点灯、時刻表示の時側が点滅します。（分側点灯）	
	2	タイマー開予約時刻（時側）を 開スイッチ 開 △ 閉スイッチ 閉 ▽ を押して合わせます。 ※タイマー開予約時刻を設定しない場合はP.13の“タイマー開又は閉予約時刻を設定しない場合”を参照し、「バー」表示にし、手順3、6の順に進んでください。	
	3	希望時になったら停スイッチ 停 ○ を押します。 時刻表示の分側が点滅します。（時側点灯）	
	4	タイマー開予約時刻（分側）を 開スイッチ 開 △ 閉スイッチ 閉 ▽ を押して合わせます。	
	5	希望分になったら停スイッチ 停 ○ を押します。 「閉」「◷」が点灯、時刻表示の時側が点滅します。（分側点灯）	
タイマー閉予約時刻の設定	6	タイマー閉予約時刻（時側）を 開スイッチ 開 △ 閉スイッチ 閉 ▽ を押して合わせます。 ※タイマー閉予約時刻を設定しない場合はP.13の“タイマー開又は閉予約時刻を設定しない場合”を参照し、「バー」表示にし、手順7、10の順に進んでください。	
	7	希望時になったら停スイッチ 停 ○ を押します。 時刻表示の分側が点滅します。（時側点灯）	
	8	タイマー閉予約時刻（分側）を 開スイッチ 開 △ 閉スイッチ 閉 ▽ を押して合わせます。	
	9	合わせたら停スイッチ 停 ○ を押します。 「時計」「◷」が点灯。時刻表示の時側が点滅します。 （分側点灯）	

手　順		使用するスイッチと操作方法	操作後の液晶表示
現在時刻の設定	10	現在時刻（時側）を 開スイッチ 開 △ 閉スイッチ 閉 ▽ を押して合わせます。	
	11	希望時になったら停スイッチ 停 ○ を押します。 時刻表示の分側が点滅します。（時側点灯）	
	12	現在時刻（分側）を 開スイッチ 開 △ 閉スイッチ 閉 ▽ を押して合わせます。	
	13	停スイッチ 停 ○ を押します。 「開」「◷」が点灯。時刻表示の時側が点滅しタイマー開予約時刻の設定にもどります。	
設定終了	14	切換スイッチ ◯ を押します。 現在時刻が表示されます。 （開ランプ閉ランプが点滅を停止しシャッターの開閉状態に合わせて開もしくは閉ランプが点灯します。）	
タイマー予約ON	15	切換スイッチ ◯ を1回又は3回連続で押して「◷」を表示させます。 （予約状況「開、閉」、「◷」が表示されます） ※切替スイッチ◯を連続で押さない場合、初期状態（現在時刻のみの表示）に戻ることがありますので、切替スイッチ◯を連続で押してください。	

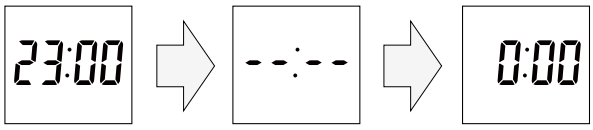
■タイマー開又は閉予約時刻を設定しない場合

●タイマー予約時刻の時側を設定する際、下記「バー」表示状態で停スイッチ 停 ○ を押してください。

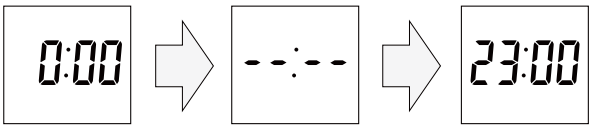


※「バー」表示は23時と0時の間で表示されます。

●開スイッチ 開 △ を押した場合



●閉スイッチ 閉 ▽ を押した場合



■タイマー予約・リモコン操作の切替え方法

●切替スイッチ◯を押して、タイマー予約、リモコン操作のON、OFF設定をしてください。

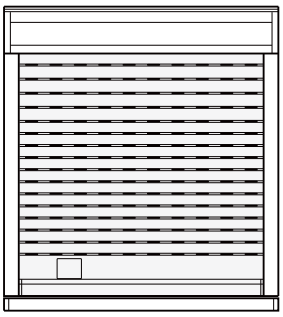
設　定　状　態	操　作　方　法	操作後の液晶表示	備　考
タイマー予約　OFF リモコン操作　OFF	初期状態		現在時刻のみが表示されます。
タイマー予約　ON リモコン操作　OFF	切替スイッチ◯を1回押します。		現在時刻、予約状況「開、閉」、「◷」が表示されます。
タイマー予約　OFF リモコン操作　ON	切替スイッチ◯を連続で2回押します。		現在時刻、「📶」が表示されます。
タイマー予約　ON リモコン操作　ON	切替スイッチ◯を連続で3回押します。		現在時刻、予約状況「開、閉」、「◷」、「📶」が表示されます。
タイマー予約　OFF リモコン操作　OFF	切替スイッチ◯を連続で4回押します。		初期状態（現在時刻のみが表示されます。）

※切替スイッチ◯を連続で押さない場合、初期状態に戻ることがありますので、切替スイッチ◯を連続で押してタイマー予約、リモコン操作のON、OFF設定をしてください。

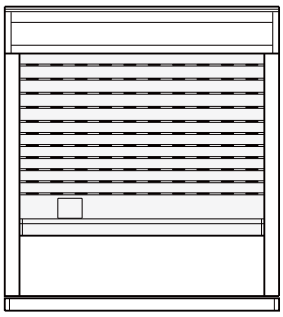
※切替スイッチ◯を連続で押すことにより、上記設定状態が繰り返されます。

■半開操作の操作方法

●半開操作とは、スリット状態や任意の停止位置に設定することにより、ワンタッチで設定した位置にすることができます。



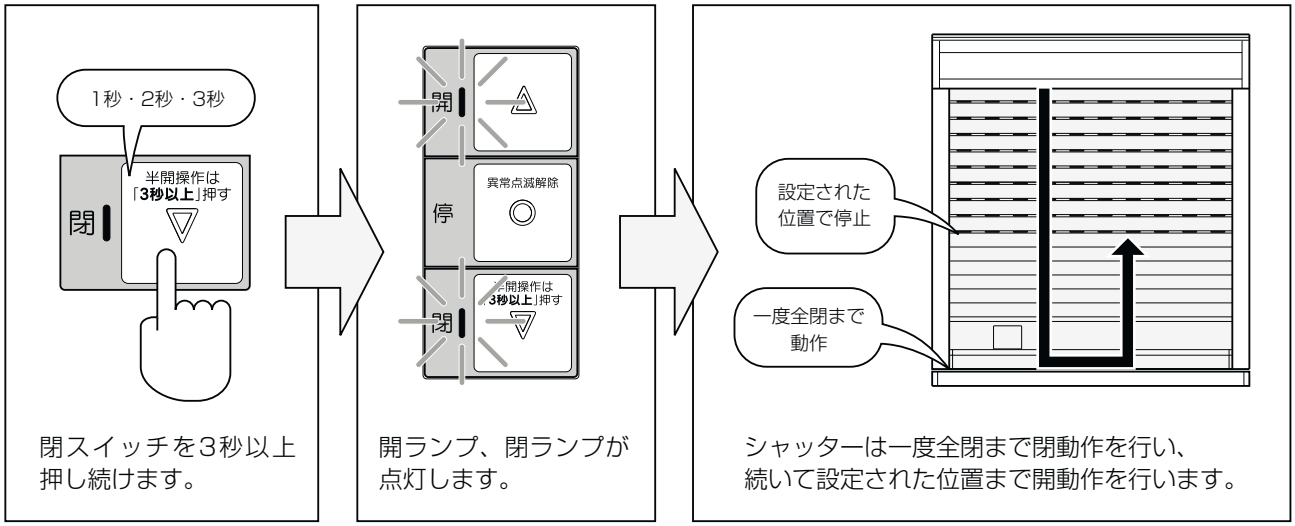
スリット状態
アリーズ



任意の停止位置
アリーズ
イタリヤ
クワトロ

●操作方法

●半開操作の設定が必要です。設定方法はP.16**「半開操作の設定方法」**を参照してください。



閉スイッチを3秒以上押し続けます。

開ランプ、閉ランプが点灯します。

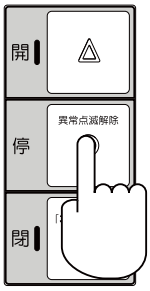
シャッターは一度全閉まで閉動作を行い、続いて設定された位置まで開動作を行います。

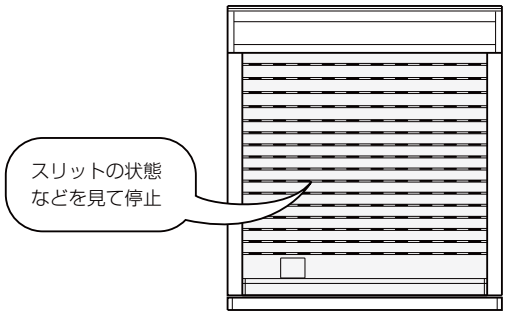
●シャッターが全閉のときは、3秒後に開動作を開始します。

●全閉以外の状態のときは、始め通常閉動作を行い、3秒後に開動作に移行します。

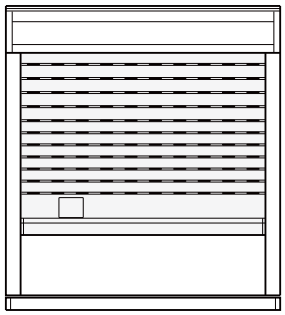
●半開操作の設定方法

■設定開始



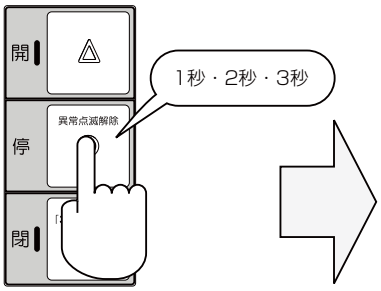


アリーズ

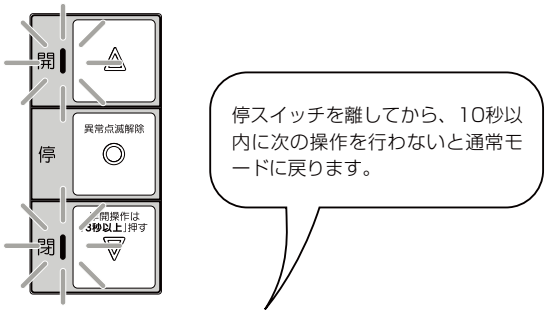


アリーズ
イタリヤ
クワトロ

・シャッターを設定したい位置に合わせて停止させます。
（設定時の位置と実際の停止位置では誤差が生じますが故障ではありません。）

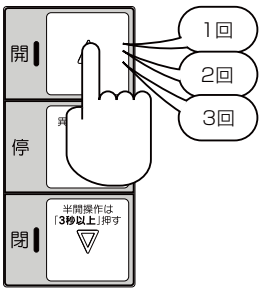


・停スイッチを3秒以上押し続けます。

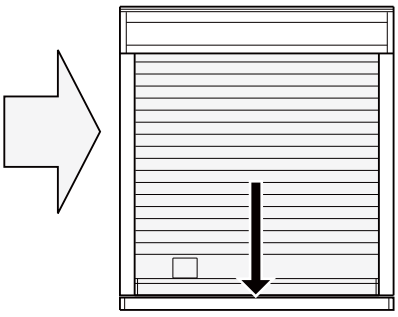


・開ランプ、閉ランプが遅い点滅をします。

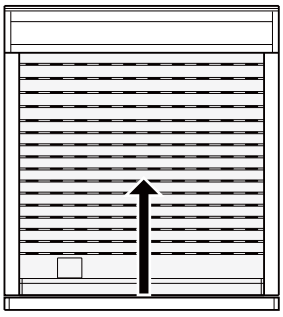
■設定



・開スイッチを3回続けて押します。

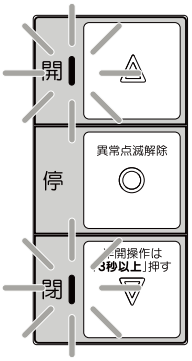


・自動でシャッターが閉動作を行います。



・全閉後、自動でシャッターが開動作を行い設定開始位置で停止します。

■設定終了



設定動作中に異常入力、スイッチ操作を行ったときは設定動作を中止し通常モードに戻ります。

・開ランプ、閉ランプが早い点滅をします。
・約1.5秒後、点滅は停止し開ランプが点灯します。（閉ランプ消灯）

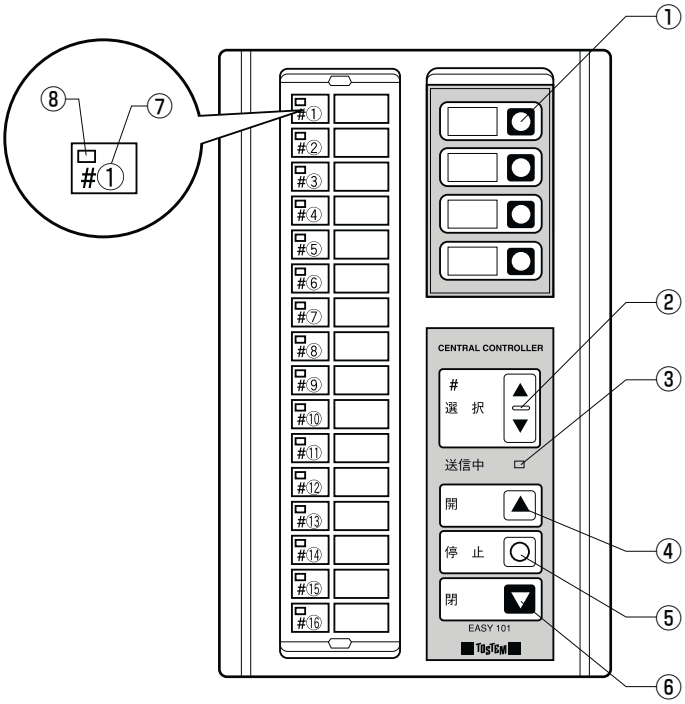
2 セントラルコントローラーの操作のしかた

■個別遠隔操作のしかた

1）開閉したいシャッターの窓No.ランプ（緑）⑦が点灯するまで、窓No.選択スイッチ②を押してください。
2）開ける場合は開スイッチ④、閉める場合は閉スイッチ⑥を押してください。
シャッターが上昇又は下降し、送信ランプ（赤）③が点滅します。
シャッターを途中停止する場合は、停止スイッチ⑤を押してください。
シャッターが途中停止し、開閉表示/異常表示ランプ（赤）⑧が点灯します。
シャッターが全閉すると消灯します。

■グループ操作のしかた

1）グループ操作スイッチ①を押してください。
グループとして設定された複数のシャッターを同時に開閉できます。



●各スイッチのなまえ

番号	なまえ
①	グループ操作スイッチ
②	窓No.選択スイッチ
③	送信ランプ（赤）
④	開スイッチ
⑤	停止スイッチ
⑥	閉スイッチ
⑦	窓No.ランプ（緑）
⑧	開閉表示／異常表示ランプ

●グループを設定したり設定を変えたりする場合は、お客さま相談センターまでご連絡ください。

3 リモコンの操作のしかた

⚠注　意

●開閉位置に人・物のないことを確かめてから開閉してください。はさまれてケガをしたり、物をはさんだりするおそれがあります。はさまれた場合は、ただちに停止スイッチを押してシャッターを停止させ、開スイッチを押してシャッターを巻き上げてから取除いてください。

お願い

●壁スイッチ（アダプタ）の前に障害物を置かないでください。リモコン受光部が隠れてリモコン操作ができなくなるおそれがあります。
●お子様にリモコンを操作させないでください。誤って人・物がはさまれるおそれがあります。

※リモコンはオプション設定になります。
※壁スイッチがタイマー付き壁スイッチ（アダプタ）にて対応可能です。

赤外線リモコン操作のしかた

※赤外線リモコン操作をするには、タイマー付き壁スイッチ（アダプタ）で以下の操作を行ってください。

■タイマー付壁スイッチ（アダプタ）の設定

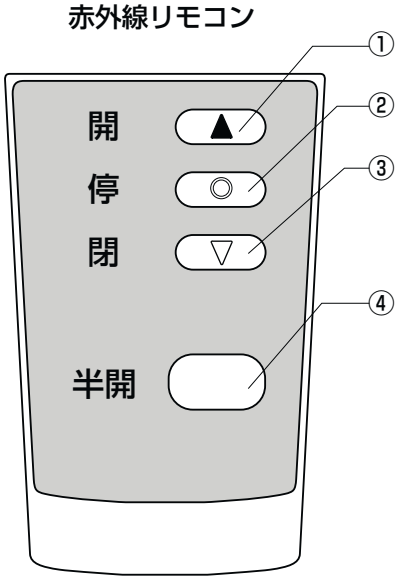
①タイマー付壁スイッチ（アダプタ）の切換スイッチを押してリモコン操作をONにします。

●液晶表示部に 📶 の表示がでればリモコン操作はONになっています。
詳細はP.14**「タイマー予約・リモコン操作の切換え方法」**を参照してください。

②半開操作の設定を行います。

●詳細はP.16**「半開操作の設定方法」**を参照してください。

赤外線リモコン



●赤外線リモコンのなまえとはたらき

番号	なまえ	はたらき
①	**開ボタン**	**シャッターが上昇します。**
②	**停止ボタン**	**シャッターが途中停止します。壁スイッチ（アダプタ）の開ランプ（赤）の点滅を解除します。**
③	**閉ボタン**	**シャッターが下降します。**
④	**半開ボタン**	**半開操作の設定を行った位置まで開いて停止します。**

■赤外線リモコンからの操作のしかた

【開ける場合】

●開ボタン①を押してください。

・シャッターが上昇し、壁スイッチ（アダプタ）の開ランプ（赤）が点灯します。

・シャッターを全開又は途中で止めたとき、壁スイッチ（アダプタ）の開ランプ（赤）が点灯します。

【閉める場合】

●閉ボタン③を押してください。

・シャッターが下降します。

・シャッターが全閉のとき、壁スイッチ（アダプタ）の閉ランプ（緑）が点灯します。

【途中で止める場合】

●停止ボタン②を押してください。

・シャッターが途中停止します。

【半開操作】

●半開ボタン④を押してください。

・シャッターが下降します。

・シャッターは一度全閉まで閉動作を行い、続いて設定された位置まで開動作を行います。

■2台以上のシャッターを開閉する場合

●それぞれの壁スイッチの受光部にリモコンを向けて操作してください。

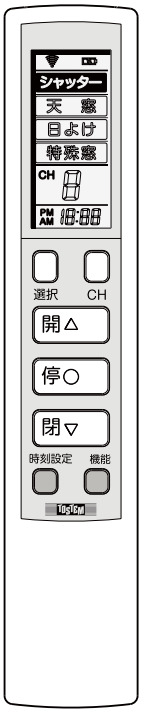
■リモコンの操作可能範囲

●信号の到達距離は受光部の正面から直線で約8mです。受光部の正面からズレるほど受光可能な距離は短くなります。

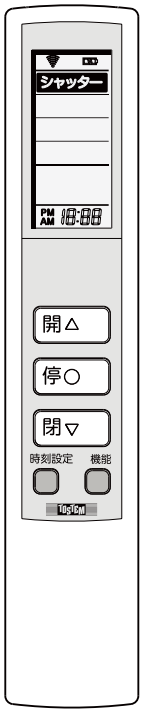
共通リモコン・単機能リモコンの操作のしかた

※共通リモコン・単機能リモコンの操作のしかたは、別冊の**「共通・単機能リモコン、電動ユニット　取扱い説明書」**を参照してください。

共通リモコン



単機能リモコン



連窓方立の取外し方・取付け方

⚠ 注　意

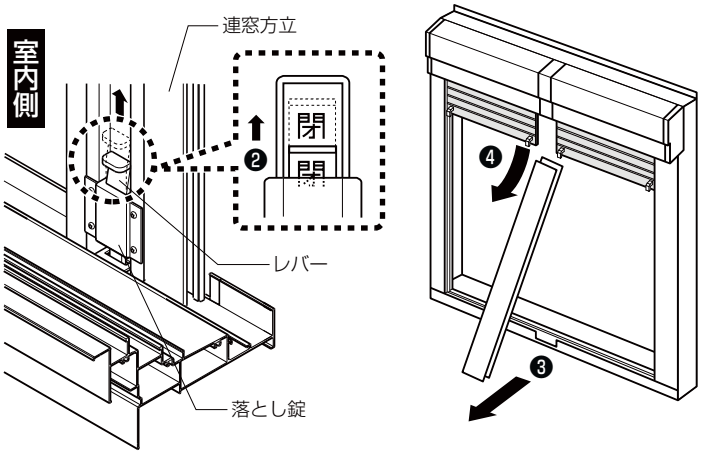
●連窓方立の取付け後に、落し錠のレバー部『閉』刻印が半分以上かくれるまでレバーを下げ、落し錠受けに固定されていることを確認してください。固定されていない場合、脱落して人身事故や物損事故につながります。

お願い

●連窓方立の上部が連窓ブラケットに差込まれていることを確認してください。差込まれていない場合、脱落して人身事故や物損事故につながります。

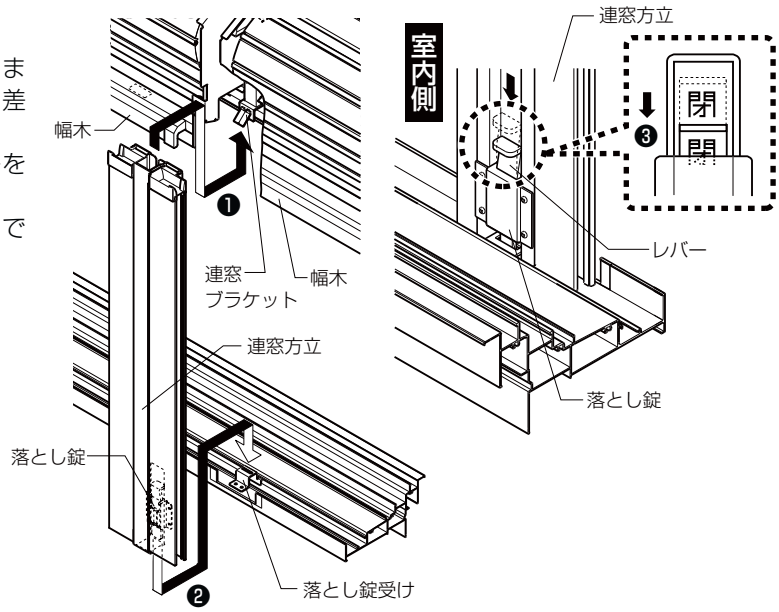
■「連窓方立」の取外し方

❶「窓シャッター」を開けた状態にします。
❷連窓方立の室内側下部についている落し錠のレバーを引き上げます。
❸連窓方立の下部を室外側に押し出します。
❹連窓方立を下方向に下げて、上部から引き抜きます。



■「連窓方立」の取付け方

❶連窓方立の上部に左右の幅木を差込みます。そのまま連窓方立を押し上げ、その上部を連窓ブラケットに差込みます。
❷連窓方立の下部を室内側に引込み、落し錠のレバーを下げ、落し錠受けに固定します。
※落し錠のレバー部『閉』刻印が半分以上かくれるまでレバーを下げ、落し錠受けに固定します。



「アリーズ・イタリヤ・クワトロ」の異常表示

※「アリーズ・イタリヤ・クワトロ」が異常を感知した場合、開ランプ（赤）、閉ランプ（緑）が点滅します。
この章では、異常表示の原因と解除のしかたを説明します。

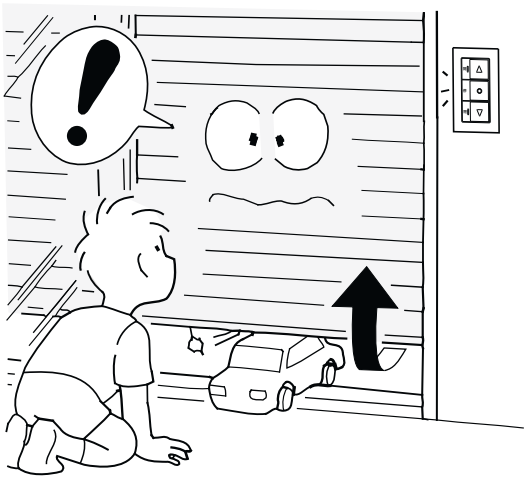
1 赤の点滅

■開ランプが赤の点滅をするのは以下の原因が考えられます。（故障ではありません）

①シャッター下降中に、幅木が異物（人・物など）を感知した場合
→シャッターはただちに停止し、自動的に上昇して全開で停止します。
シャッター周辺に異物（人・物など）がないか確認し、取り除いてください。

②シャッター上昇中に幅木の下が押された場合
→シャッターはその場で停止します。
シャッター周辺に異物（人・物など）がないか確認し、取り除いてください。

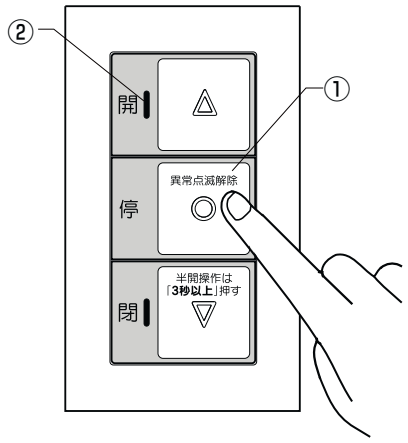
③安全ロックをかけたまま、シャッターを操作し一定時間経過した場合。
→シャッターはその場で停止します。
P.25**「安全ロックの操作のしかた」**を参照して、安全ロックを解錠してください。



■開ランプ(赤)点滅の解除のしかた

●壁スイッチの場合

1）停止スイッチ①を押してください。開ランプ（赤）②の点滅を解除します。
※ブザー音は鳴りません。



■開ランプ(赤)点滅の解除のしかた

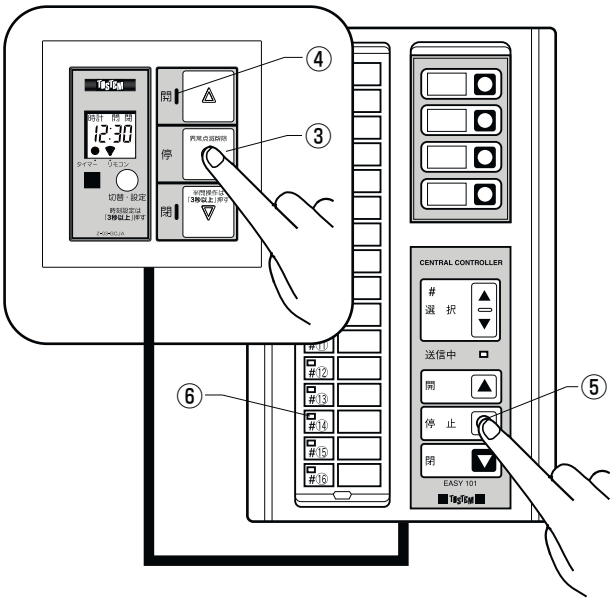
●タイマー付壁スイッチ(アダプタ)の場合

1）停止スイッチ③を押してください。
開ランプ(赤)④の点滅とブザー音が解除されます。

●セントラルコントローラーの場合

1）セントラルコントローラーの停止スイッチ⑤を押してください。ブザー音が解除されます。
2）アダプタの停止スイッチ③を押してください。
セントラルコントローラーの開閉表示(赤)⑥の点滅が解除されます。

※アダプタの停止スイッチ③およびセントラルコントローラーの停止スイッチ⑤を押しても解除できないときは、タッチセンサーを押してから上記を行ってください。（タッチセンサーの位置は、P.6を参照してください）



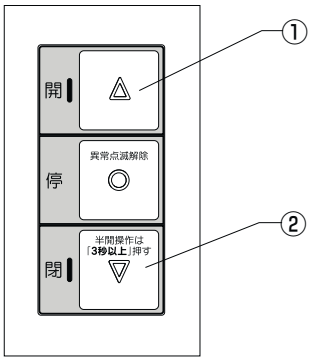
2 緑の点滅

●太陽電池の充電容量が低下すると、閉ランプ（緑）が点滅します。（故障ではありません）
「アリーズ・イタリヤ・クワトロ」開閉中の場合は、シャッターはその位置で停止します。

●閉ランプ（緑）の点灯中に「アリーズ・イタリヤ・クワトロ」を開閉する場合は、以下にしたがってください。

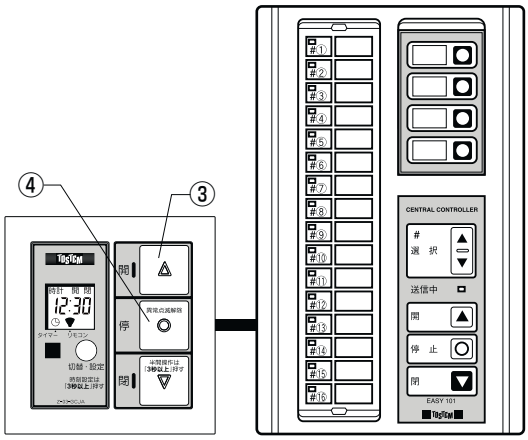
■壁スイッチからの操作

●開スイッチ①又は閉スイッチ②を押し続けてください。
・その間だけ開閉します。



■タイマー付壁スイッチ（アダプタ）からの操作

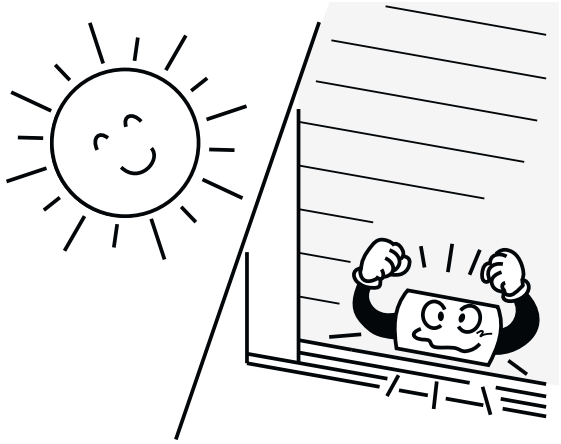
●開スイッチ③又は閉スイッチ④を押し続けてください。
・その間だけ開閉します。



■セントラルコントローラーからの操作

・安全上、異常表示中の集中制御はできませんので、
スイッチを操作しても作動しません。

●閉ランプ（緑）は、太陽電池の充電容量が回復すれば、自動解除します。
●太陽電池の充電容量を回復させる場合は、以下の手順にしたがってください。
1）太陽電池表面の汚れをふき取ってください。
2）太陽電池が明るい位置にくるよう、シャッターを停止させてください。
●晴天時など、日光が直接太陽電池に当たる場合は、約3～4時間充電すると異常表示ランプ（緑）が解除されます。通常の使用状態で太陽電池の充電が完了するには、約5日間かかります。



停電時開閉機構の使い方

※この章では手動での開閉のしかたについて説明しています。

1 停電時開閉機構とは

※「アリーズ・イタリヤ・クワトロ」は電動式シャッターですが、手動でも開け閉めできます。

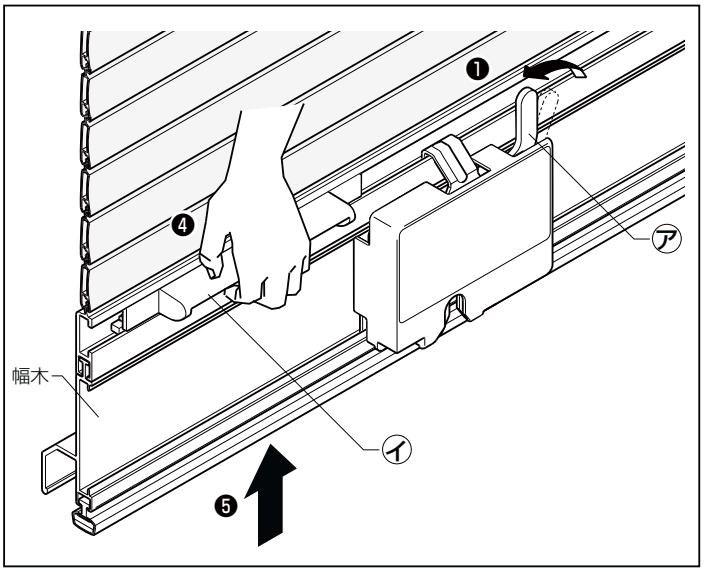
お願い

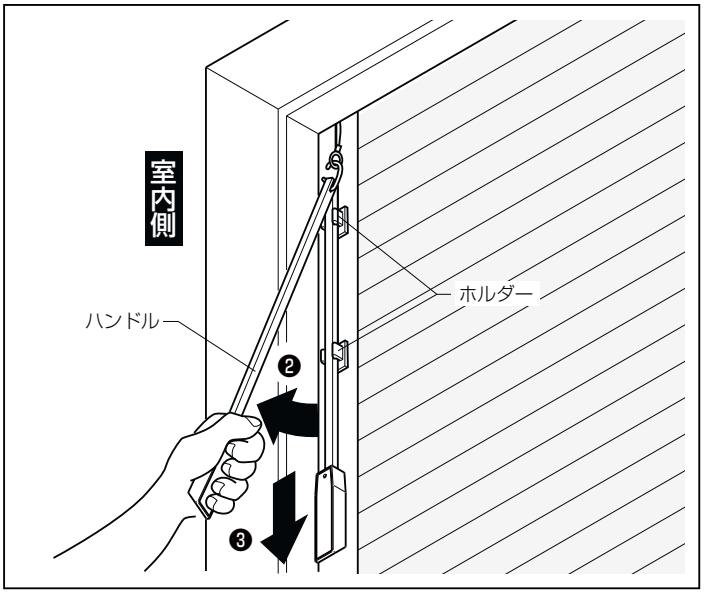
●停電時開閉機構は非常時にも必ず開閉できるよう、「開閉のしかた」にしたがって1年に1回程度作動確認をしてください。

※アリーズの場合は、手動開閉時にスリットは閉まりません。
※一部サイズには停電時開閉機構が付いていません。

2 開閉のしかた

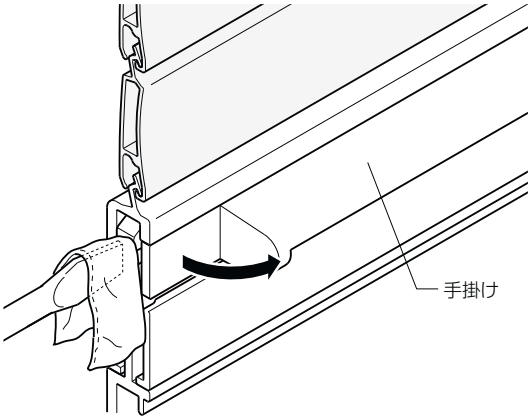
①サッシの障子を開き、安全ロック㋐を解除します。
②ハンドルをホルダーから外してください。
③ハンドルを下方に引いてください。
（アリーズの場合ハンドルを下方に引くとスラットが巻上がり大きな音が発生しますが故障ではありません）
④手掛け㋑を持ちます。
⑤そのまま幅木を持ち上げ、シャッターを開けます。
⑥再度ハンドルを下方に引いてください。電動開閉に戻ります。（ハンドルはホルダーに固定してください）



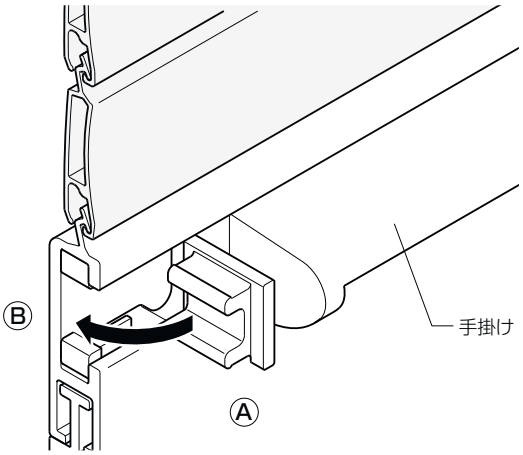


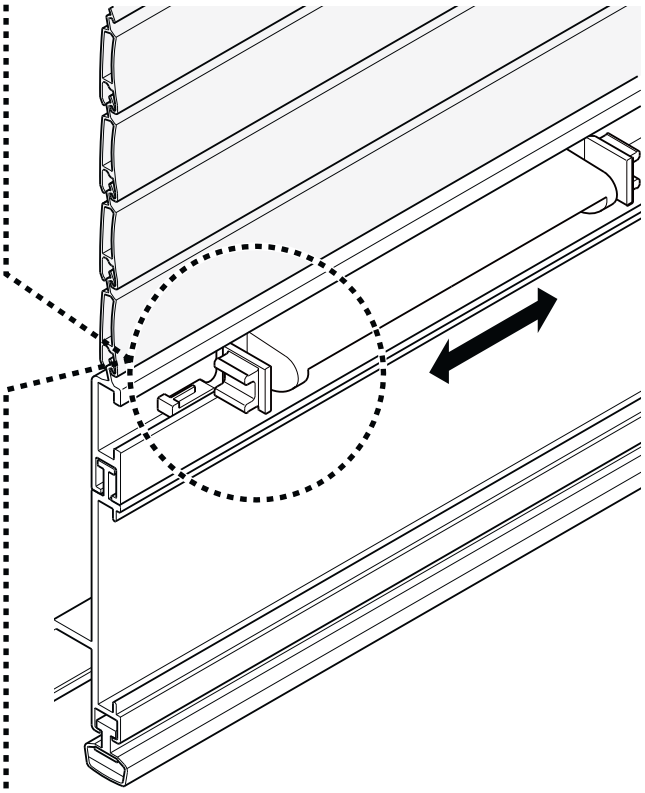
3 手掛けの位置変更

①マイナスドライバーなどに布をかぶせ、つめを外します。（つめは手掛けの左右2ヵ所あります）



②手掛けを希望の位置までスライドさせⒶ部を折り曲げⒷ部へ押込み固定してください。





安全ロック機構の使い方

※この章では、安全ロックの操作のしかたについて説明しています。

1 安全ロックとは

●「アリーズ・イタリヤ・クワトロ」は自動ロック機構を装備していますが、おやすみ、外出時の防犯性を高めるため、手動式のロックを装備しています。
このロックを安全ロックといいます。
※フラットアタッチメント仕様は手動式のロックのみとなります。

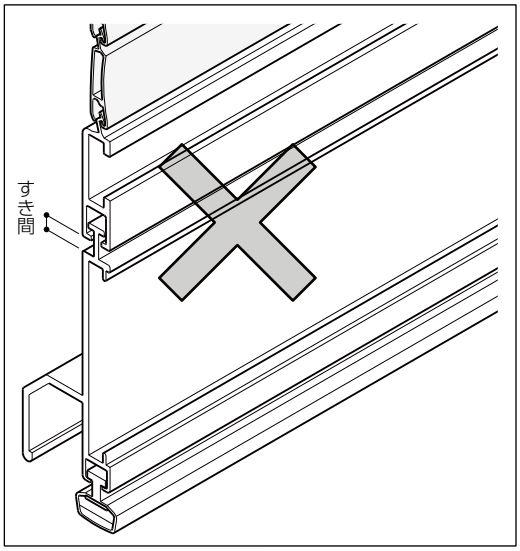
お願い

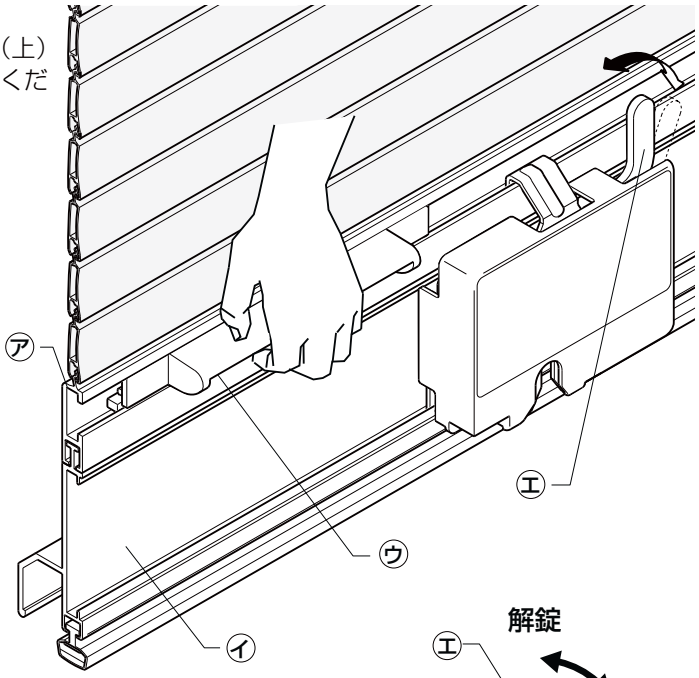
●おやすみ又は外出の際は、安全のため「アリーズ・イタリヤ・クワトロ」を閉めて安全ロックを施錠してください。又、必ず内側のサッシも施錠してください。強風・雨の際もきちんと施錠してください。

2 安全ロックの操作のしかた

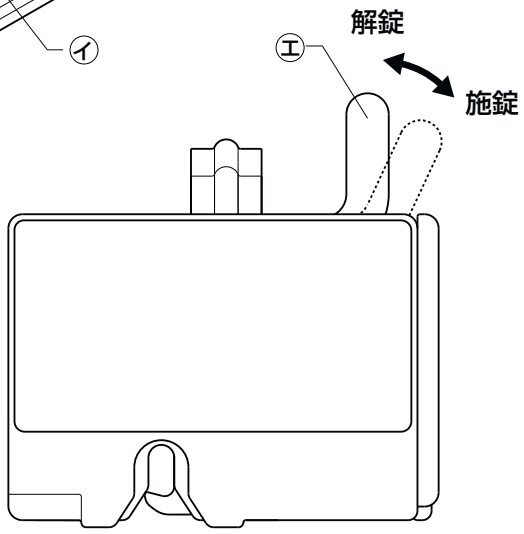
■施錠方法

①シャッターを全閉にしてください。そのとき、幅木(上)㋐と幅木(下)㋑の間にすき間がないことを確認してください。





②幅木(上)の手掛け㋒を下に押しつけながら安全ロックレバー㋓を施錠側に倒してください。



■解錠方法

●安全ロックレバー㋓を解錠側に倒してください。

お願い

●安全ロックを施錠したまま、シャッターの開ける操作をすると、シャッターが破損するおそれがあります。必ず解錠してから開閉操作をしてください。

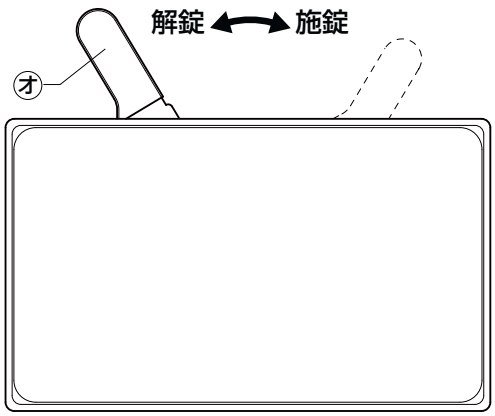
【フラットアタッチメント仕様の場合】

■施錠方法

①シャッターを全閉にしてください。
②安全ロックレバー㋔を施錠側に倒してください。

■解錠方法

●安全ロックレバー㋔を解錠側に倒してください。



点検とお手入れ

※この章では、「アリーズ・イタリヤ・クワトロ」の操作をする場合に守るべき安全事項を説明しています。

1 点検

●「アリーズ・イタリヤ・クワトロ」は少なくても1カ月に2～3回開閉をしてください。長期間動かさないとスムーズに作動しなくなるおそれがあります。

●「アリーズ・イタリヤ・クワトロ」を安全にご使用いただくため下記の点検を行ってください。
点検を行って、作動不良や異常がありましたら、お買い求めの工務店、販売店又はLIXIL修理受付センターへご連絡ください。

●セーフティーリターンセンサーの点検を行う場合は、必ず「セーフティーリターンセンサーの作動点検」の手順にしたがってください。本手順にしたがわない場合、事故のおそれがあります。

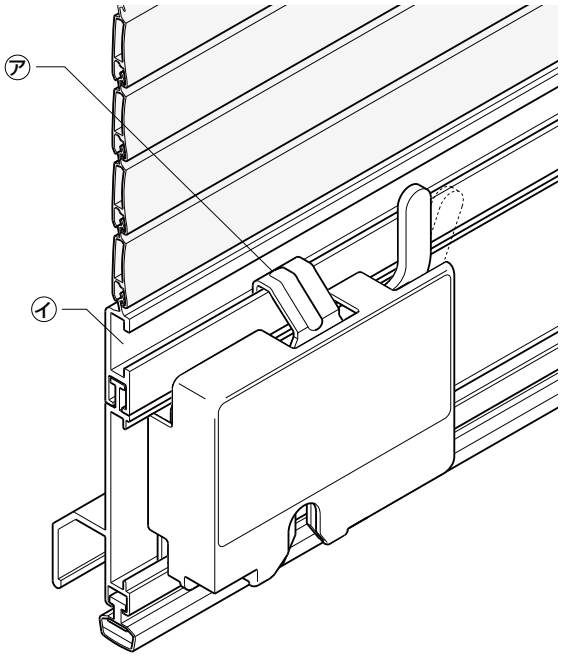
■点検個所

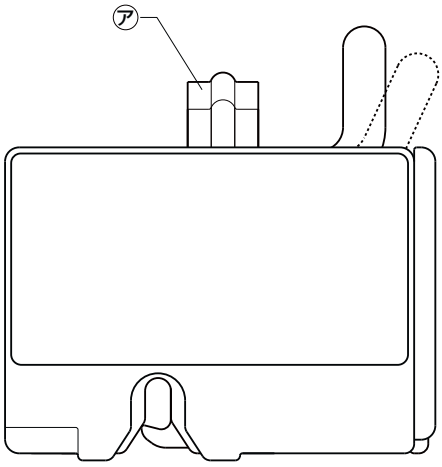
番　号	点検部分	点検内容
1	**ガイドレール部 スラット部**	**作動がスムーズに行えないようなキズや曲がりなどの変形、異常な音はないか。**
2	**ロック部**	**ロック部を本章の点検手順にしたがって確認ください。**
3	**セーフティーリターン センサーの作動**	**セーフティーリターンセンサーが作動するか本章の点検手順にしたがってください。**
4	**停電時開閉**	**「停電時開閉機構の使い方」にしたがい、手動で開閉できるか。**

2 ロックの点検

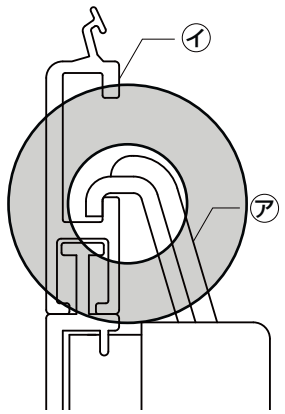
●「アリーズ・イタリヤ・クワトロ」は、自動ロック機構を装備していますが、この機能は、ロックのリンク㋐が幅木（上）㋑に引っ掛かっていないと作動しないしくみになっています。

※フラットアタッチメント仕様の場合は仕様が違いますので点検不要です。

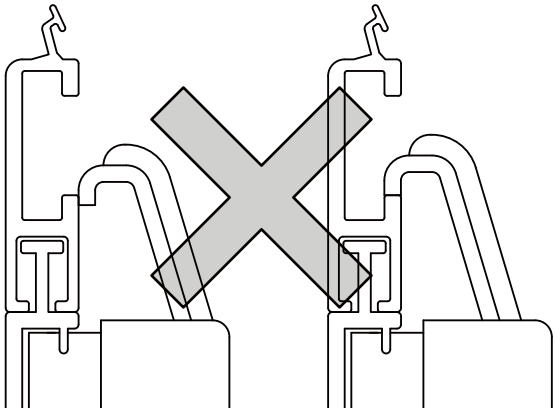




正常な状態



外れた状態



お願い

●清掃などでロックのリンクが外れた場合は、幅木の溝に引っ掛けてください。

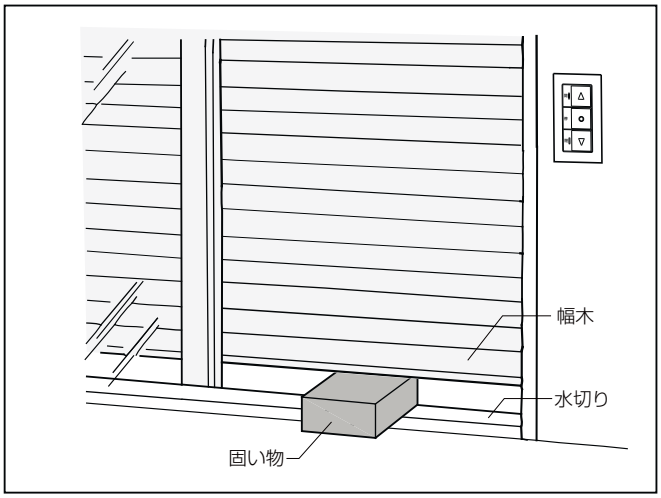
3 セーフティーリターンセンサーの作動点検

⚠注　意

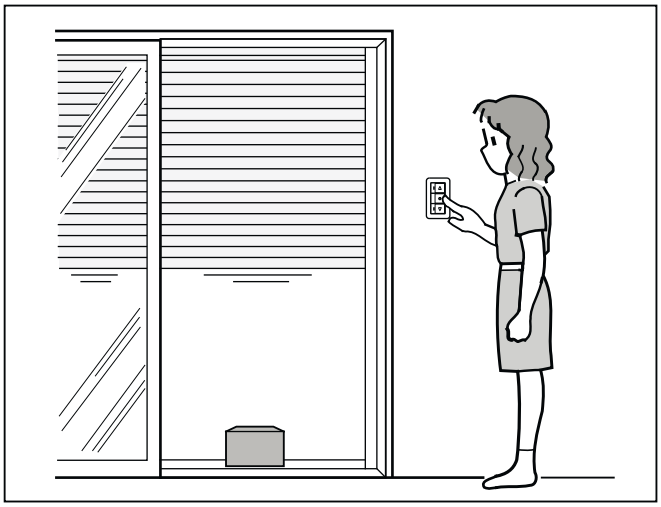
●セーフティーリターンセンサーを点検するときは、シャッター周辺に手をふれないでください。
シャッターと窓枠の間に手をはさまれてケガをするおそれがあります。

●セーフティーリターンセンサーの点検時に、シャッターの下降が停止しない、シャッターが自動的に上昇しないなどありましたら、ただちに壁スイッチの停止スイッチを押してシャッターを停止させ、開スイッチを押してシャッターを巻き上げてください。事故・故障の原因になります。

①シャッターを全開にしてください。
②水切りの上に固い物を置いてください。
※左右のガイドレールより内側20mmの範囲は感知できませんので物を置かないでください。
③壁スイッチの閉スイッチを押してください。
→シャッターが下降します。



④シャッターが固い物に当り、ただちに下降が停止し自動的に上昇し全開で停止します。
※壁スイッチは開ランプ（赤）の点滅、タイマー付き壁スイッチ（アダプタ）は開ランプ（赤）の点滅・ブザー音が鳴りますので、停止スイッチを押して解除してください。
⑤シャッターが全開停止していることを確認してから水切りの上の固い物を取除いてください。
⑥シャッターが以下の状態のとき、お買い求めの工務店、販売店又はLIXIL修理受付センターへ連絡してください。
→シャッターの下降が停止しない。
→シャッターが自動的に上昇しない。

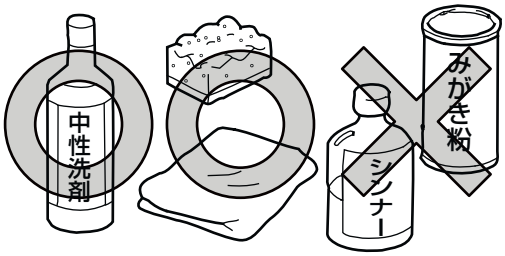


4 お手入れのしかた

●「アリーズ」「クワトロ」はアルミニウム、「イタリヤ」はアルミニウムおよび鋼板で作られています。表面に付いたゴミ・ホコリ・砂・雨水などは、しみ、腐食、作動不良などの原因になりますので定期的に掃除してください。
●「アリーズ」「イタリヤ」「クワトロ」下部の水切り部やガイドレール内部は常に清掃し、異物などがないようにしてください。作動不良や破損するおそれがあります。
●長期間、清掃しないままにしておきますと、表面やガイドレール内部に付着した汚れは、しみ、腐食、作動不良などの原因になります。汚れが軽いうちに清掃してください。清掃の目安は、少なくても月に1回程度です。
特に海岸地帯や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスによる汚損が進みやすいので、こまめにお手入れしてください。

お願い

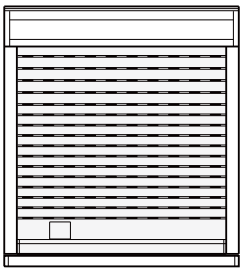
●太陽電池部分のお手入れには、水・洗剤・みがき粉・シンナーを使用しないでください。
●お手入れには柔らかい布・スポンジを使用し、金属製ブラシ・金ベラなどを使用しないでください。
●洗剤は、必ず中性のものを使用してください。



①表面に付いたゴミ・ホコリ・砂・雨水などを取除いてください。
②ガイドレール内部や水切り部に付いたゴミ・ホコリ・砂・雨水などをふき取ってください。隅の方は、歯ブラシ・洋服ブラシなどで掃除してください。

お願い

●「アリーズ」の場合は、シャッターをスリット状態（シャッター全面が通気できる状態）にしてスラットの間のゴミ、ホコリ、砂なども取除いてください。シャッターがきれいに閉まらない原因になります。



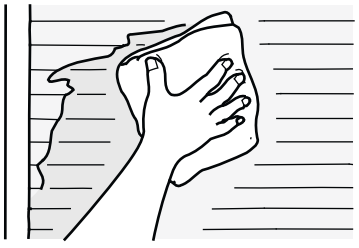
〈シャッタースリット状態〉

③以下の要領で汚れを落としてください。

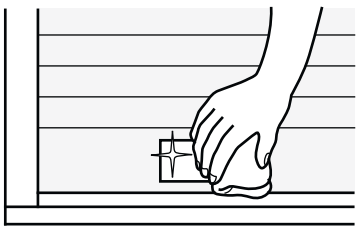
〔あまり汚れがひどくない部分〕
ぞうきんで水ぶきした後、からぶきしてください。

〔特に汚れがひどい部分〕
うすめた中性洗剤で汚れを落とし、洗剤が残らないようぞうきんでよく水ぶきした後、からぶきしてください。

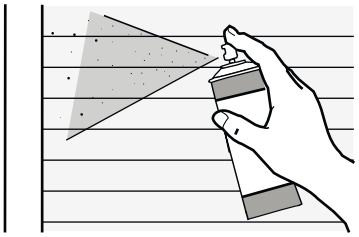
〔太陽電池部分〕
汚れのないよう、常に清掃してください。



●水に濡らしてきつくしぼったぞうきんでふいた後、からぶきしてください。
洗剤・みがき粉・シンナーを使用したり、水をかけたりしないでください。



④鋼板部にサビが出た場合
まず、目の細かい紙ヤスリなどでサビを完全に落とします。次に、市販のスプレー式ラッカーを吹き付けてください。その時、スラットのかみ合っている部分などの可動部にかからないように注意してください。



シャッターが動かない場合

シャッターが動かない場合は、必ず以下の操作を行ってから、表の指示にしたがってください。
〔壁スイッチの場合〕…停止スイッチを押してください。
〔アダプタの場合〕……停止スイッチを押してください。
〔セントラルコントローラーの場合〕…停止スイッチを押してください。

1 処置のしかた

ここをお調べください	処置のしかた	参照ページ
停電していませんか？	**停電が終わるまでお待ちください。30分以上停電した場合は、タイマー設定・現在時刻設定が取消されますので再度設定してください。**	P.12～14
ブレーカーが落ちていませんか？	**ブレーカーをセットしてください。**	—
スイッチは正しく押しましたか？	**「操作のしかた」を参照してください。**	P.11～19
開ランプ、閉ランプが点滅していませんか？	**「異常表示」を参照してください。**	P.21～22
手動で開閉できますか？	**ハンドルを引いて電動開閉に戻してください。**	P.23
ガイドレールに障害物がありませんか？	**障害物を取除いてください。**	—
ガイドレール・スラットなどが変形していませんか？	**変形している場合はただちに「アリーズ・イタリヤ・クワトロ」の使用を中止し、「重要なお知らせ」の窓口までご連絡ください。**	P.1
5分以上連続して開閉しませんでしたか？	**10～15分程度休ませてから開閉してください。**	P.3
シャッターが凍結していませんか？	**凍結している場合は、溶けるまで待ってから作動させてください。無理に作動させると故障の原因となります。**	P.3
〔タイマー付壁スイッチ（アダプタ）の場合〕 タイマー予約時刻、現在時刻の設定状態になっていませんか？	**切替スイッチを押してください。**	P.12～14
ロックのリンクが幅木から外れていませんか？	**リンクを幅木（上）の溝に引っ掛けてください。**	P.26～27
〔リモコンで動かない場合〕 タイマー付壁スイッチ（アダプタ）のリモコン操作がOFFになっていませんか？	**切替スイッチを押してリモコン操作をONにしてください。**	P.14
〔リモコンで動かない場合〕 タイマー付壁スイッチ（アダプタ）に太陽光が当っていませんか？	**カーテンなどにより太陽光をさえぎってください。**	—

●お問合わせ先については、P.1「重要なお知らせ」を参照してください。

商品保証について

本書は、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中、商品に故障、損傷などの不具合（以下「不具合」といいます）が発生した場合には、お取り扱いの施工店、工務店、販売店又はLIXIL修理受付センターにご相談ください。

■ 対象商品　サッシ・ドア商品

■ 保証期間　施工者よりの引き渡し日（注1・注2）から2年間（電装部品については1年間）

注1）改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。

注2）分譲住宅（建売住宅）・分譲マンションの場合は、建築主様への引き渡し日とします。

※ただし、「住宅の品質確保の促進等に関する法律」第2条第1項及び第2項に規定する「新築住宅」に取付けられた商品（同法第94条第1項に定める「雨水の浸入を防止する部分」として同法施行令第5条第2項に該当する部分に限る）からの雨水浸入については10年間とします。

■ 保証内容　取扱説明書、本体ラベル又はその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に商品そのものに不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項に該当する場合を除き無料修理いたします。

なお、強風雨時に、サッシ下枠に雨水がたまることがありますが、これは商品上の特性であり不具合ではありません。

不具合といえる雨水浸入は、サッシ下枠を越えて雨水が流れ出たり、あふれ出たりすることです。

■ 免責事項　保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。

①当社の手配によらない加工、組立て、施工、管理、メンテナンスなどに起因する不具合
（例えば、海砂や急結剤を使用したモルタルによる腐食。中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食。工事中の養生不良に起因する変色や腐食など）

②お客様の指図による、正規仕様でない特別な仕様にて製作した部分に起因する不具合
（例えば、サッシ・ドアの防犯性能、使い勝手、操作性の低下など）

③表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取付けられた場合の不具合

④建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合

⑤商品又は部品の経年変化（使用に伴う消耗、摩耗など）や経年劣化（樹脂部品の変質、変色など）又はこれらに伴うさび、かびなどその他類似の不具合

⑥商品周辺の自然環境、住環境などに起因する結露、腐食又はその他の不具合
（例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食。ガラスの熱割れ。強化ガラスの自然破損。異常な高温・低温・多湿による不具合など）

⑦商品又は部品の材料特性に伴う現象
（例えば木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、ふし抜け、樹液のにじみ出しなど）

⑧天災その他の不可抗力
（例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、火災など）による不具合又はこれらによって商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合

⑨施工当時実用化されていた技術、知識では予測することが不可能な現象又はこれが原因で生じた不具合

⑩犬、猫、鳥、鼠などの小動物に起因する不具合

⑪引き渡し後の操作誤り、調整不備又は適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
（例えば、クレセント・錠などの部品が、使用中にがたついたり異音などが発生し、異常が生じたまま使用し続けたことが原因で発生した傷・破損などの不具合）

⑫お客様自身の組立て、取付け、修理、改造（必要部品の取外しを含む）に起因する不具合

⑬本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合

⑭犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

＊保証期間経過後の修理、交換などは有料とさせていただきます。

＊本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お取り扱いの施工店、工務店、販売店又はLIXIL修理受付センターにお問い合わせください。

2012年2月

MEMO

MEMO

株式会社 LIXIL

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで
受付時間/月～金 9:00～18:00　土・日・祝日 9:00～17:00（ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く）

TEL. **0120-126-001**　FAX.**03-3638-8447**

●旭トステム外装株式会社のサイディング材に関する商品相談は
旭トステム外装（株）サービスデスクナビダイヤル　TEL.0570-001-117

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで
受付時間/月～金 9:00～18:00（祝日、年末年始、夏期休暇等を除く）

TEL. **0120-413-433**　FAX.**0120-413-436**

http://www.lixil.co.jp/support/

安全に関するご注意
ご使用の前に「取扱説明書」をよくご覧の上、正しくお使いください。また、取付設置工事は「取付設置説明書・施工説明書」に従ってください。いずれの場合も、取り扱いを誤ると事故や故障の原因となります。

個人情報保護について
当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

●商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

LIXIL
Link to Good Living

私たちは、優れた製品とサービスを通じて、
豊かで快適な住生活の未来を創造する住まいと暮らしの「総合住生活企業」です。

ECO FIRST

地球環境のためにLIXILは
業界トップランナーとして
先進的な取組をしていきます。

株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、LIXILオフィシャルサイトまで

http://www.lixil.co.jp/

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CADデータなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトから
ご確認ください。

業務用	MX1600	12	2015.10.10 発行

MX1600